

2025年2月27日(木)

「教育新春交流会 2025」に参加して

昨日、元麻布にある中華人民共和国駐日本国大使館主催の「2025 教育新春交流会」に参加して来ました。私の想像を超えた総勢 200 名にもある大きな行事で、呉 江浩駐日大使をはじめ、あべ 俊子文部科学大臣、山本 博司参議院議員、神谷 ひろし衆議院議員、酒井 なつみ衆議院議員、林 宣宏東京科学大学副学長(国際戦略・連携担当)ほか錚々たる方々のご臨席をいただきました。こうした中、第 1 部で全体説明に続く 4 人の報告者の一人として私も参加した次第です。

最初に教育部の杜 柯伟参事官より 2024 年度教育交流に関する中日の 1 年間の様々な取り組みについて全体的な紹介がありました。続く報告では、まず日中新世紀会の吉村 善和理事長より中学・高校生を中心とした交流について、その経緯を含め成果の披露がありました。二番手として私が登壇し、昨年 10 月に北京麗沢国際学校と締結した姉妹校提携のことに触れつつ、本校独自の取り組みである生徒同士のグループによる原宿・渋谷界隈の散策や本校の様子などについて紹介しました。三番目には、予算委員会が終わって駆けつけた神谷議員より、ご自身の中国留学経験を交え、思い出と現在まで続く交流についてお話がありました。第 1 部の最後には、第 16 回漢語橋世界中高生中国語コンテストでアジア第 1 位、世界 2 位となった福岡県立福岡高校 3 年赤崎 愛さんが見事な中国語を交えながらも表現豊かなスピーチで締めくくりました。

続く第 2 部は隣の部屋に会場を移して、あべ文科大臣の挨拶から始まり、中国の伝統的舞踊や変面、京劇などいくつもの文化発表が行われました。ここでは多くの中日交流を実施されている民間団体、日本に設立された中国系大学の方々と歓談することができ、とても有意義な時間を過ごすこともできました。

その様子をいくつか写真で紹介しておきましょう。

石飛 一吉



あべ文部科学大臣

